

9月12日(木)

9:30-10:30 特別講演

経済ゲーム実験における行動の一貫性 選好、信念、適応領域

講演者：山岸俊男（東京大学）

司会：岡田浩之（玉川大学）

10:40-12:40 ポスター 1

P1-1 サッカーにおけるパス行動決定の計算モデル化の試み

瀬古沢理一(玉川大学大学院工学研究科), 大森隆司(玉川大学工学部)

P1-2 行為文理解時の「抽象的な」知覚運動シミュレーション

栗津俊二(実践女子大学)

P1-3 協同学習において社会的関係性に影響を及ぼす教授方略の検討

高垣マユミ(実践女子大学), 中西良文(三重大学), 田爪宏二(京都教育大学)

P1-4 散文理解と内容討議における類推と比喻の効果 I I. 体面討議における集団内対人態度

光田基郎(ノースアジア大学・経済学部)

P1-5 テキストから連想される色彩とユーザ属性

土斐崎龍一(電気通信大学大学院情報理工学研究科総合情報学専攻), 大西里美(電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科), 飯場咲紀(電気通信大学大学院情報理工学研究科総合情報学専攻), 坂本真樹(電気通信大学大学院情報理工学研究科総合情報学専攻)

P1-6 学習の動機づけが記憶の誤りに及ぼす影響

鍋田智広(北陸先端科学技術大学院大学), 猪股健太郎(関西大学大学院心理学研究科), 興盛剛(山口大学大学院理工学研究科), 小野史典(山口大学), 松田憲(山口大学大学院理工学研究科)

P1-7 メンタルトレーニングと自律神経機能の制御

宮田裕光((独)科学技術振興機構 ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト), 岡ノ谷一夫((独)科学技術振興機構 ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト), 川合伸幸((独)科学技術振興機構 ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト)

P1-8 相互行為における認知効果の意義—話し合いながら考える活動の観察と分析—

名塩征史(北海道大学 メディア・コミュニケーション研究院)

P1-9 挨拶行動はインタビュアーの振る舞いによってどう変わるのか？

白井芳奈(同志社大学), 鈴木紀子(同志社大学), 阪田真己子(同志社大学)

P1-10 音素配列に基づく幼児の言語獲得モデルの検証

郡司雅(工学院大学情報学部情報デザイン学科), 郷田直一(生理学研究所感覚認知情報研究部門), 蒲池みゆき(工学院大学情報学部)

- P1-11 内的リハーサルとしてリフレッシングが記憶と保持に及ぼす効果
木戸口英樹(松山大学)
- P1-12 模倣学習におけるミラーニューロンシステムの活動
大橋祥平(明治大学), 嶋田総太郎(明治大学)
- P1-13 映像作品における人間と人形の円環と修辞、その認知 : 映像は人生の鏡像か?
小川有希子(法政大学社会学部), 金井明人(法政大学社会学部)
- P1-14 アイコンタクト時の上側頭溝の脳活動計測
佐藤晃裕(明治大学理工学部), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)
- P1-15 室内における乳児の歩行-繰り返される行為の分析 (1)
西尾千尋(東京大学大学院学際情報学府), 青山慶(東京大学大学院学際情報学府), 佐藤由紀(玉川大学芸術学部)
- P1-16 心拍数が音楽聴取時の時間感覚に与える影響
松田憲(山口大学大学院理工学研究科), 一川誠(千葉大学文学部), 橘佳奈(山口大学工学部)
- P1-17 ノスタルジアが認知される物語, その生成と応用
内藤優哉(大妻学院), 金井明人(法政大学)
- P1-18 拡張された行為主体とその心
中山康雄(大阪大学大学院 人間科学研究科)
- P1-19 報酬に基づく終助詞の意味と名詞の意味の同時獲得
呉霞(京都工芸繊維大学), 大上涼麻(京都工芸繊維大学), 深田智(京都工芸繊維大学), 尾関基行(京都工芸繊維大学), 岡夏樹(京都工芸繊維大学)
- P1-20 側方の壁による視覚情報や認知の変化が立位姿勢制御に及ぼす影響
古田国大(三仁会あさひ病院リハビリテーション科), 松井孝雄(中部大学人文学部)
- P1-21 随意運動準備中の脳波および近赤外分光法の同時計測
座間拓郎(明治大学大学院 理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学)
- P1-22 Artificial agent as a tool for psychological experiments
イハンジュ(東京大学 総合文化研究科 広域システム科学系), 開一夫(東京大学 総合文化研究科 広域システム科学系)
- P1-23 認知科学的知見に基づく東日本大震災被災地復興支援活動
哲人-おとなりさんの哲学-プロジェクト
忽滑谷春佳(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科), 坂井田瑠衣(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科), 栗本美可子(慶應義塾大学 SFC 研究所), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部)
- P1-24 自己運動観察時のミラーシステムの活動計測
長谷川博一(明治大学大学院 理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

- P1-25 ミュラー・リヤー錯視の時間的條件と眼球運動について
—知覚と運動の相互作用から錯視を考える—
小堀聡(龍谷大学理工学部電子情報学科), 小野泰(龍谷大学大学院理工学研究科電子情報学専攻)
- P1-26 解を導くアイデア産出のための場のデザイン
石川悟(北星学園大学)
- P1-27 語用論的意味の理解過程—知覚情報処理を伴う活性伝播モデル—
斎藤幹樹(京都大学大学院)
- P1-28 視線の先を表す手がかりが視線による操作感に与える影響
鹿子木康弘(東京大学大学院総合文化研究科), 松田剛(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P1-29 初期理解の一般的な主張が建設的相互作用に及ぼす影響
遠山紗矢香(静岡大学)
- P1-30 人間はコンピュータからの皮肉を感じるか?
内海彰(電気通信大学), 渡邊優(電気通信大学), 若山裕介(電気通信大学)
- P1-31 仮想空間における対人距離の調整方向によるパーソナルスペースの異方性
小島隆次(滋賀医科大学医学部), 岩元彩絵(京都大学教育学部), 杉本匡史(京都大学大学院教育学研究科)
- P1-32 問題解決における状態空間の抽象化プロセス—発話プロトコルに基づく分析—
寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科/JST CREST), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科)
- P1-33 言語統計解析に基づく文生成の計算モデルの実験による検討
寺井あすか(東京工業大学大学院社会理工学研究科), 堀田崇史(東京工業大学大学院社会理工学研究科), 中川正宣(東京工業大学大学院社会理工学研究科)
- P1-34 協調的な方略の振り返りが内発的動機付けに及ぼす効果
～数学ゲーム「マススピード」を例に～
白水始(国立教育政策研究所), 村川弘城(関西大学大学院), 鈴木航平(中京大学 情報理工学部 情報知能学科)
- P1-35 書店POP 広告のフォントと“見出し”が書籍への注意と評価に与える影響
後藤靖宏(北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科)
- P1-36 「新パラダイム推論心理学」と双条件付事象
澤宏司(日本女子大学附属高等学校), 横川純貴(東京電機大学大学院理工学研究科), 高橋達二(東京電機大学理工学部)
- P1-37 ビッグデータの時間次元の条件をそろえるスケジューリング原理とその実用化: 縦断研究の大規模化と高度化の実現
寺澤孝文(岡山大学大学院教育学研究科), 吉田哲也(常葉大学教育学部), 矢地晴彦(岡山大学大学院), 上田紋佳(西南学院大学人間科学部心理学科), 西山めぐみ(名古屋大学大学院環境学研究科)

13:50-15:10 口頭1:言語

- 01-1 身体知と宣言的知識に基づくスキル獲得過程に関する研究
市川淳(名古屋大学大学院情報科学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科), 寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科 / JST CREST)
- 01-2 日本語文処理の負荷に関する計算言語学的研究
林正頼(東京工業大学 総合理工学研究科), 高村大也(東京工業大学 精密工学研究所), 浅原正幸(国立国語研究所 コーパス開発センター), 奥村学(東京工業大学 精密工学研究所)
- 01-3 日本語母語話者の英語発話にみられるフィラーの使用ストラテジー
横森大輔(日本学術振興会/名古屋大学), 遠藤智子(日本学術振興会/京都大学), 河村まゆみ(言語アノテータ), 鈴木正紀(Pearson Knowledge Technologies), 原田康也(早稲田大学)
- 01-4 人工言語の共創実験: 使用する記号の類似性が導く言外の意味の成立
金野武司(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科), 森田純哉(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科), 橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)

15:20-16:40 口頭2:知識・思考

- 02-1 消費税問題に対する確証バイアスの影響と批判的思考との関連
中村國則(成城大学社会イノベーション学部), 脇村玲衣(東京工業大学大学院社会理工学研究科), 山岸侯彦(東京工業大学大学院社会理工学研究科)
- 02-2 若年者および高齢者における振り込め詐欺被害傾向の相違について
—taxometric methodによる分析—
渡部諭(秋田県立大学総合科学教育研究センター), 澁谷泰秀(青森大学社会学部)
- 02-3 知識獲得の計算理論に向けて: 多変量情報流による潜在的機構の推定
日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)
- 02-4 肯定と否定の非相補性: 確率推論課題における図地フレーミングの実験的検討
服部雅史(立命館大学)

16:50-18:50 ワークショップ1

WS1 ヒトと人工物のインタラクション：発展のための課題

企画：開一夫（東京大学），板倉昭二（京都大学），今井倫太（慶應義塾大学）

話題提供者：金井祐輔（慶應義塾大学大学院），今吉晃（北海道大学大学院）

福田玄明（東京大学大学院），奥村優子（京都大学大学院文学研究科）

大須賀晋（東京大学大学院総合文化研究科・アイシン精機（株）），

佐藤良（静岡大学大学院情報学研究科）

WS2 概念研究のクロストーク

企画：浅川伸一（東京女子大学），京屋郁子（立命館大学）

話題提供者：京屋郁子（立命館大学），浅川伸一（東京女子大学）

WS3 動的な意識の流れにおいて主体性を発現させる描画ロボット

企画：後安美紀（大阪市立大学）

話題提供者：岡崎乾二郎（近畿大学），辻田勝吉（大阪工業大学）

後安美紀（大阪市立大学）

指定討論者：福島真人（東京大学）

WS4 拡大するデザイン研究－認知デザイン論へ向かって

企画：田中吉史（金沢工業大学）・永井由佳里（北陸先端科学技術大学院大学）

話題提供者：荷方邦夫（金沢美術工芸大学），田浦俊春（神戸大学），田中吉史（金沢工業大学），永井由佳里（北陸先端科学技術大学院大学）

指定討論者：小橋康章（大化社・成城大学）

9月13日(金)

9:30-10:50 口頭3：身体・芸術

- 03-1 腕を大きく回してクリエイティブに！ -身体運動と拡散的創造性との関係-
永井聖剛(産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門), 山田陽平(奈良教育大学教育学部/産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門), 仲嶺真(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- 03-2 視覚運動系列学習における空間構造の変換が潜在的転移に与える影響
田中観自(東京大学先端科学技術研究センター, 日本学術振興会), 渡邊克巳(東京大学先端科学技術研究センター)
- 03-3 エンフェイスマント効果の神経基盤の検討
金山範明(EPFL), Michiel van Elk (EPFL), Daniele Romano (EPFL), Bruno Herbelin (EPFL), Olaf Blanke (EPFL/HUG)
- 03-4 芸術表現の捉え方に関する一考察：芸術家の創作過程のケーススタディに基づいて
岡田猛(東京大学大学院), 横地早和子(東京未来大学), 高木紀久子(東京大学大学院学際情報学府)

11:00-13:00 ポスター2

- P2-1 マインドリーディングにおける2つの推測方略：
反応時間を用いた方略使い分け仮説の検討
石井辰典(東京成徳大学 応用心理学部), 竹澤正哲(北海道大学大学院 文学研究科)
- P2-2 マイクロスリップ対する方略選択の効果
廣瀬直哉(京都ノートルダム女子大学)
- P2-3 因果構造の学習における共変動と事前知識の役割
斎藤元幸(関西学院大学大学院文学研究科), 嶋崎恒雄(関西学院大学文学部)
- P2-4 第一言語獲得における認知バイアスに基づいた言語知識修正
須藤洸基(富山高等専門学校 専攻科 制御情報システム工学専攻), 的場隆一(富山高等専門学校 電子情報工学科), 萩原信吾(富山高等専門学校 国際ビジネス学科), 中村誠(名古屋大学大学院法学研究科附属法情報研究センター), 東条敏(北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科)
- P2-5 意識的処理が洞察問題解決に及ぼす影響
安達啓晃(東京大学), 清河幸子(名古屋大学大学院教育発達科学研究科), 松香敏彦(千葉大学文学部)
- P2-6 子どものテレビゲーム遊び経験と情動表情認知の関係-事象関連電位を指標として-
玉宮義之(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)

- P2-7 人は感受性の異なる他者にどこまで共感できるのか？
村田藍子(北海道大学大学院文学研究科)，亀田達也(北海道大学大学院文学研究科)，樋口さとみ(岩手医科大学 医歯薬総合研究所)，佐々木超悦(北海道大学大学院文学研究科(既卒))
- P2-8 星新一のようなショートショートをコンピュータに創作させる試み
松原仁(公立はこだて未来大学)，中島秀之(公立はこだて未来大学)，佐藤理史(名古屋大学)，赤石美奈(法政大学)，角薫(公立はこだて未来大学)，迎山和司(公立はこだて未来大学)，村井源(東京工業大学)，大塚裕子(公立はこだて未来大学)，平田圭二(公立はこだて未来大学)，瀬名秀明(作家)
- P2-9 表情が視線手がかりによる視覚的注意に与える影響
松中玲子(東京大学大学院・総合文化研究科)，開一夫(東京大学大学院・総合文化研究科)
- P2-10 何が記述してあればテキストの示している対象物がわかるのか
保田祥(国立国語研究所)，浅原正幸(国立国語研究所)，前川喜久雄(国立国語研究所)
- P2-11 身体的なインタラクションを通じた未知の存在に対する認知姿勢の形成過程
坂本孝文(静岡大学大学院情報学研究科)，竹内勇剛(静岡大学大学院情報学研究科)
- P2-12 関係構築における心的距離を感知させる文末表現：顔文字の場合
伊東昌子(常磐大学)
- P2-13 精油の学習効果への影響について
上條美和子(玉川大学脳情報研究科)，大森隆司(玉川大学脳科学研究所)，竹市博臣(理化学研究所)
- P2-14 プロジェクト活動から個人研究への発展を促進する授業デザインの検討：intercontextualityに着目して
長田尚子(清泉女学院短期大学)
- P2-15 日常場面におけるソーシャルカスタマイゼーション：貼り紙を題材として
新垣紀子(成城大学社会イノベーション学部)
- P2-16 不快刺激および中性刺激がワーキングメモリに与える影響
—NIRSによる認知神経科学的検討—
小澤幸世(東京大学大学院総合文化研究科)，松田剛(東京大学大学院総合文化研究科)
開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P2-17 青筋漫符が怒り感情知覚に及ぼす影響
林聖将(東京大学大学院総合文化研究科)，玉宮義之(東京大学大学院総合文化研究科)
松田剛(東京大学大学院総合文化研究科)，開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P2-18 ステージ構築からみるコスプレ実践の学び
松浦李恵(東京都市大学)，岡部大介(東京都市大学)
- P2-19 イノベーション・マインド(イノベーションに対する態度)と創造性課題におけるパフォーマンスとの関連性の検討
都築幸恵(成城大学社会イノベーション学部)，新垣紀子(成城大学社会イノベーション学部)

- P2-20 乳児との相互作用経験に基づいた対乳児動作の変化の検討
山本絵里子(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院 総合文化研究科)
- P2-21 条件文理解に必要な情報の遮断性と近接性に関する確率計算
松井理直(大阪保健医療大学)
- P2-22 繰り返される配置換え行為の発生過程分析-繰り返される行為の分析(2)
青山慶(東京大学大学院学際情報学府), 佐藤由紀(玉川大学芸術学部), 西尾千尋(東京大学大学院学際情報学府)
- P2-23 継続的な対乳児発話でのロボットへの語り掛けが話者に及ぼす影響
柴田諒子(京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科), 小島隆次(滋賀医科大学医学部医療文化学講座心理学研究室), 尾関基行(京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科), 岡夏樹(京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科)
- P2-24 人工的エージェントに対する心の知覚
-インタラクションによる experience の知覚と agency の知覚-
海野真史(名古屋大学), 伊藤友一(名古屋大学, 日本学術振興会), 川口潤(名古屋大学)
- P2-25 呼吸統制が演奏開始の一致度に及ぼす影響
高瀬弘樹(信州大学), 窪田梓織(信州大学), 今井章(信州大学)
- P2-26 共同注意状況に着目した指さしと視線の統合的利用
安田哲也(埼玉県立大学), 小林春美(東京電機大学)
- P2-27 研究手法のモデル化によって提案する ITS と情報社会論の融合
森田均(長崎県立大学国際情報学部)
- P2-28 替え歌記憶法は有効か?
杉野かよ子(名古屋大学教育学部), 清河幸子(名古屋大学大学院教育発達科学研究科)
- P2-29 身体的な感情制御が脳の報酬処理に及ぼす影響: 事象関連電位による検討
福島宏器(関西大学社会学部)
- P2-30 アトラクタニューラルネットワークの特性と神経心理学への応用可能性
浅川伸一(東京女子大学)
- P2-31 想像課題から顔の再認課題への処理の持ち越し効果の検討
日根恭子(慶應義塾大学), 伊東裕司(慶應義塾大学)
- P2-32 漢字表記語のメモリスパンへの形態情報と音韻情報の影響
水野りか(中部大学人文学部), 松井孝雄(中部大学人文学部)
- P2-33 人間のサステナブルな思考と行動のモデルを構成する
福永征夫(アブダクション研究会)
- P2-34 説明的文章の理解における提示モダリティの効果
高橋麻衣子(日本学術振興会/東京女子大学), 田中章浩(東京女子大学)

P2-35 動機づけ向上のためのシナリオ作成（9）
職場内での評価・承認の効果に関する内容分析—
戸梶亜紀彦（東洋大学 社会学部）

14:00-14:30 総会

14:30-15:50 特別講演
講演者：二代目 林家木久蔵
司 会：T. B. D.

16:00-16:30 野島賞記念セッション
受賞者：岡部大介（東京都市大学）
小松孝徳（明治大学）
司 会：原田悦子（筑波大学）

16:30-17:50 口頭4：学習・記憶

- 04-1 価値推論ヒューリスティクスとしての規準学習と忘却
甲野佑（東京電機大学大学院先端科学技術研究科），高橋達二（東京電機大学理工学部）
- 04-2 モニタリングの正確さが読解方略使用と有効性の認知の評定に与える影響
—主観的な理解度評定の調整効果—
山口剛（法政大学大学院人文科学研究科・日本学術振興会）
- 04-3 適応アルゴリズム理解のための認知モデル
寺田和憲（岐阜大学），山田誠二（国立情報学研究所/総合研究大学院大学/東京工業大学）伊藤昭（岐阜大学）
- 04-4 「使うことの学習」過程を知る：GMLTによる加齢効果の実験室的検討
原田悦子（筑波大学人間系心理学域），須藤智（静岡大学 大学教育センター），山口一大（筑波大学人間学類）

18:00-20:00 懇親会
KEYAKI食堂（大学内）

9月14日(土)

9:30-10:50 口頭5：インタラクシオン

05-1 The presence of a friend reduces a performer's prefrontal activation: A near-infrared spectroscopy study using a driving video game

劉濤(名古屋大学大学院情報科学研究科), 齋藤洋典(名古屋大学大学院情報科学研究科), 大井京(名古屋大学大学院情報科学研究科), Matthew Pelowski(名古屋大学大学院情報科学研究科), 孟爽(名古屋大学大学院情報科学研究科), Victor Alberto Palacios(名古屋大学大学院情報科学研究科)

05-2 人一人と人一口ロボットの交互発話時の脳波リズム同期

川崎真弘(筑波大学大学院システム情報工学研究科), 山口陽子(理化学研究所脳科学総合研究センター神経情報基盤センター)

05-3 多人数インタラクシオンにおける「話したい」の発露

—参与者固有の非言語行為が醸し出す発話欲求による駆け引きの分析—

坂井田瑠衣(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科), 福士知加(慶應義塾大学環境情報学部), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部)

05-4 文化伝承を支える多世代協働インタラクシオンにおける「指揮」と「指導」の分析

榎本美香(東京工科大学), 伝康晴(千葉大学)

11:00-12:30 フェロー講演

講演者：中島秀之（はこだて未来大）

指定討論者：佐伯 胖（フェロー），長尾 真（フェロー）

司 会：大森隆司（玉川大学）

13:50-15:50 ポスター3

P3-1 日本人英語学習者の言語産出における動詞の下位範疇化情報の使用：統語的プライミング実験データの質的再分析

森下美和(神戸学院大学), 原田康也(早稲田大学)

P3-2 日本語拍の音象徴における視覚・「聴覚」・身体感覚の関係性

吉見紫彩(神戸大学大学院 人間発達環境学研究科)

P3-3 推論課題における「心の理論」の志向意識水準の操作に伴う意思決定の変化

時田真美乃(信州大学), 平石界(安田女子大学)

P3-4 カテゴリーの潜在学習—連合の方向性に関する検討—

森本雅美(大阪府立大学人間社会学研究科), 牧岡省吾(大阪府立大学人間社会学研究科)

P3-5 距離推定時における身体的負荷の影響—負荷の支持方法による比較—

阿部慶賀(岐阜聖徳学園大学)

- P3-6 多人数対話におけるロボットの視線行動に基づく発話権と対話場の制御
佐藤良(静岡大学大学院情報学研究科), 竹内勇剛(静岡大学大学院情報学研究科)
- P3-7 芸術写真表現の触発を引き起こす授業実践の検討
石黒千晶(東京大学大学院教育学研究科), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科)
- P3-8 ラジオにおけるオープンコミュニケーションのマルチモーダル分析
大島優(同志社大学), 鈴木紀子(同志社大学), 阪田真己子(同志社大学)
- P3-9 共同模写作業におけるコミュニケーションの時系列変化
八尾友揮(同志社大学), 鈴木紀子(同志社大学), 阪田真己子(同志社大学)
- P3-10 サウンドスケープを体験として記述する
浦上咲恵(慶應義塾大学政策・メディア研究科), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部)
- P3-11 ミラーニューロンシステムの活動と選択的注意の関連性
横山成紀(明治大学理工学部), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)
- P3-12 スコープ選択における構造選好効果とプロソディ効果
石井創(法政大学大学院), 大羽良(中央大学), 石川潔(法政大学)
- P3-13 シチュエーションパズルにおける協調的問題解決プロセスの分析
尾関智恵(東海学院大学)
- P3-14 モーションコントローラは操作対象との一体感を増すのか? : 生理指標による検討
松田剛(東京大学), 開一夫(東京大学)
- P3-15 筋緊張が触覚刺激に対する注意に与える効果について
漆原正貴(東京大学総合文化研究科広域システム科学系開一夫研究室), 松田剛(東京大学総合文化研究科), 玉宮義之(東京大学総合文化研究科), 開一夫(東京大学総合文化研究科)
- P3-16 乳児期における「作る時間」の理解
岡崎善弘(日本学術振興会・東京大学大学院), 松田剛(東京大学大学院総合文化研究科)
小澤幸世(東京大学大学院総合文化研究科), 山本絵里子(東京大学大学院総合文化研究科)
開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P3-17 第二言語聞き取り訓練前後の脳活動計測
田中孝樹(明治大学大学院理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)
- P3-18 文法から見た重複の自然さ: 現代日本語共通語の主題文の場合
程莉(神戸大学), 定延利之(神戸大学)
- P3-19 大学生の質問生成スキルを促進する授業実践の効果
小山義徳(聖学院大学)
- P3-20 絵画鑑賞における解説文の効果 (2) 解説文と絵画の種類の相互作用
田中吉史(金沢工業大学情報フロンティア学部心理情報学科), 松本彩希(金沢工業大学情報フロンティア学部心理情報学科)

- P3-21 画像刺激の色の調和性が再認記憶と事象関連電位におよぼす効果
今井章(信州大学人文学部), 滝沢こずえ(信州大学人文学部)
高瀬弘樹(信州大学人文学部)
- P3-22 情動喚起刺激の再生における体制化の影響の検討
加藤みずき(法政大学大学院 人文科学研究科)
- P3-23 情報検索における寄り添いエージェントの効果
齋藤ひとみ(愛知教育大学), 鈴木真帆(愛知教育大学), 土口理紗子(愛知教育大学)
- P3-24 コミュニケーションシステムの発現における騙しの役割: 課題と計算機モデルの設計
森田純哉(北陸先端科学技術大学院大学)
- P3-25 ディスカッションロボットによる覗き込み動作の必要性の検討
米山和俊(慶應義塾大学理工学部今井研究室所属), 金井祐輔(慶應義塾大学理工学部今井研究室所属), 今井倫太(慶應義塾大学理工学部今井研究室所属)
- P3-26 授業名をノードとした学習履歴の概念地図化活動の分析
土屋衛治郎(島根大学教育開発センター)
- P3-27 隠喩的表現における面白さの強度の検討
中村太戯留(慶應義塾大学), 松井智子(東京学芸大学), 内海彰(電気通信大学)
- P3-28 絵本中の空間認知に対するページめくり方向と場面における距離変化の影響
北爪英明(東京電機大学大学院理工学研究科情報学専攻), 安田哲也(埼玉県立大学), 勝又洋子(東京電機大学), 小林春美(東京電機大学大学院理工学研究科)
- P3-29 幼児の自己身体部位の定位における言語ラベル呈示の影響
宮崎美智子(大妻女子大学社会情報学部), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P3-30 社会不安傾向に関する自律神経系の活動計測
都地裕樹(明治大学大学院理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)
- P3-31 ウィリアムズ症候群患児(者)における他者視点取得の発達変化
平井真洋(自治医科大学脳機能研究部門, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所), 中村みほ(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所), 倉橋直子(愛知県心身障害者コロニー中央病院), 村松友佳子(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所), 倉橋宏和(愛知県心身障害者コロニー中央病院), 水野誠司(愛知県心身障害者コロニー中央病院)
- P3-32 「自治体マイスター制度」における実践共同体構築の促進要因
松本雄一(関西学院大学商学部)
- P3-33 残念な言語現象—ポライトネスの耐えられない矛盾—
首藤佐智子(早稲田大学法学学術院), 原田康也(早稲田大学法学学術院)
- P3-34 俳優の身振りにおけるキャッチメント分析の試み—繰り返される行為の分析(3)—
佐藤由紀(玉川大学芸術学部), 西尾千尋(東京大学大学院学際情報学府), 青山慶(東京大学大学院学際情報学府)
- P2-35 メタファの有意味性判断に対するワーキング・メモリの影響
中本敬子(文教大学), 内海彰(電気通信大学)

P3-36 母語訛りの英語が顧客の購買意欲に与える影響

—英語学習者の経済的合理性について—

鍋井理沙(早稲田大学大学院 教育学研究科 修士課程)

16:00-18:00 ワークショップ2

WS5 30年後の日本認知科学会に向けて

企 画：小橋康章（大化社・成城大学）

話題提供者：大森隆司（玉川大学），佐伯胖（信濃教育会研究所），鈴木宏昭（青山学院大学），田浦俊春（神戸大学），野口尚孝（フリーランスデザイン研究者），橋田浩一（東京大学），横澤一彦（東京大学），小橋康章（大化社・成城大学）

WS6 Make：コミュニティにおける実践：なぜ作る／集うのか

企 画：青山征彦（駿河台大学），岡部大介（東京都市大学）

話題提供者：渡辺ゆうか（FabLabKamakura, LLC 代表 /慶應義塾大学SFC研究所訪問研究員）
小池星多（東京都市大学）

指定討論者：八田真行（駿河台大学），有元典文（横浜国立大学）

WS7 コミュニケーションを支える知覚・認知基盤

企 画：田中章浩（東京女子大学），嶋田総太郎（明治大学）

話題提供者：喜多伸一（神戸大学），永井聖剛（産業技術総合研究所），嶋田総太郎（明治大学），浅井智久（千葉大学）

指定討論者：板倉昭二（京都大学）

以上